

第 7 次埼玉県地域保健医療計画に基づく病院整備計画の整備計画報告書

- 1 医療機関名：医療法人ひかり会パーク病院
- 2 所在地（開設予定地）：埼玉県白岡市千駄野 1086-1
- 3 整備する病床の機能・数

【変更後】 整備計画病床 20 床

医療機能*	病床機能報告区分	病床種別	入院基本料・特定入院料	病床数
回復期機能 (在宅療養支援)	慢性期	療養	療養病棟入院基本料 1	20
計	—	—	—	20

* 回復期機能、がん医療、脳卒中医療、心血管疾患医療、救急医療、周産期医療、緩和ケア等整備する病床が担う医療機能を記載

【変更前】 整備計画病床 20 床

医療機能*	病床機能報告区分	病床種別	入院基本料・特定入院料	病床数
回復期機能 (在宅療養支援)	慢性期	療養	療養病棟入院基本料 1	20
計	—	—	—	20

見直しに当たっての考え方、変更後病床数の根拠

(※客観的データを用いた根拠(例: 受入患者数×平均在院日数÷365)を記載してください。)

直近1年間で内科を外来受診された患者のうち医師が入院必要と判定したが、ベッドが空いていないため他病院などへ送らざるを得なかった患者数が年間62人(相談連絡・受診の外来患者130人ー入院受入の外来患者68人)・・・①

診療所、施設、他病院から入院相談を受け、空床待ちとなった患者数が年間33人(空床待ちの診療所・施設・病院患者77人ー入院受入の診療所・施設・病院患者44人)・・・②

当病棟が今後目標とする平均在院日数150日をもとに計算すると

$$\text{受入患者数 } 95 \text{ 人 (①+②)} \times \text{平均在院日数 } 150 \text{ 日} \div 365 = 39$$

なお、昨年11月の地域構想協議会でもご指摘いただきましたように、当該病棟の平均在院日数551日は、療養病棟の全国平均152日、埼玉県平均174日に比べ大分長いことは大変憂慮しており、今後は平均在院日数短縮に向けて具体策を講じていきたいと思っております。

当院は白岡で開院し「あたたかい心のかよう地域医療・福祉の実現」を理念に18年間取り組んできました。病院長が白岡市医師会に入会し、より一層緊密な地域医療連携に力を入れるべく取り組んでまいります。具体的には、自宅や介護施設への退院を増やすべく地域の介護施設や在宅診療所などとの連携を深め紹介していきたいと思っております。そのために、空床を確保し急性増悪などの場合に受け入れる体制を整えることにより、家族の不安を和らげ自宅や介護施設への退院を増やし平均在院日数の短縮を図っていきます。

加えて当院では、新規入院患者はすべて一般病棟で受け入れ、最低3か月以上の加療が必要と思われる患者のみを療養病棟に転棟させております。その結果、どうしても長期入院になってしまう患者が療養病棟に偏っておりました。一般病棟の平均在院日数は9日と大分短いので、今後は短期の加療が必要と思われる患者も療養病棟に転棟させ、一般病棟と療養病棟を一元管理することで病床回転率の効率化を図り、回復、退院を促進していきたいと思っております。

また、今回の整備計画が認められれば在宅療養支援病院の施設基準を届け出る予定ですが、緊急時に入院が必要な在宅療養患者は療養病棟で直接受け入れるようにし、「時々入院、ほぼ在宅」を実践していくことによって、十分平均在院日数の短縮は図れると思っております。

上記の計算式では39床の増床が必要となりますが、現在の病院敷地にて整備するには容積率がオーバーし難しく、期限も限られておりますので、当初計画通り現在の病棟内で整備可能な20床を増床整備し、現状の改善を図りたいと思っております。

4 スケジュール

	項 目	完了（予定）年月
1	開設（変更）許可（医療法）	令和 3 年 2 月
2	建築（着工）	該当なし
3	建築（竣工）	該当なし
4	医療従事者の確保	令和 3 年 1 月
5	使用許可（医療法）	令和 3 年 3 月
6	開設（増床）	令和 3 年 4 月

5 整備方針、目標

○地域医療を支えていくために圏域で果たす役割、機能

当院の内科病床は、現在連携を行っている急性期の医療機関からの患者（ポストアキュート）や、外来を受診される患者および近隣の診療所・介護施設などから送られてくる患者（サブアキュート）を中心に受け入れております。主に肺炎、尿路感染症、大腿骨骨折術後リハビリや手術断念症例など高齢者に多い疾患の治療、末期がんの終末期医療、食思不振・低栄養、慢性疾患の急性増悪などへの対応をしております。引き続きこれらの機能を担う病床を整備強化していくことが当院の役割で、地域医療を支えていくものと理解しております。

また、在宅療養支援病院として今後増加が見込まれる在宅患者の受け皿となるなど、従来の機能をさらに拡張し地域医療に貢献していきたいと考えております。

○新たに担う役割

現状、当院の一般・療養病床はほぼ満床状態が続いており、空床がある場合でも患者の容体や性別による偏り、眼科手術の予約などが原因で待機いただくかお断りしてしまうことがほとんどです。新たに療養病床を20床増やすことで、現状お断りしてしまっている患者の受け入れに加え、緊急時に地域の在宅療養患者が入院できるよう常に病床を確保することが可能になると考えております。

地域完結型の医療を目指すために、急性期病院や診療所との連携強化はもちろんのこと、介護施設（老人保健施設・特別養護老人ホーム・老人ホームなど）との連携、在宅医療の実践を通じて、レスパイト・ポストアキュート・サブアキュートの患者受け入れを円滑に行い、自宅や施設にお返しすることが重要だと思っております。当院は、当圏域で地域包括ケアシステム構築の潤滑油としての役割を担っていきたく思っております。

○将来の方向性

当院の将来の方向性は、当圏域において「介護」、「医療」、「予防」という専門的なサービスを提供することはもちろんのこと、その前提としての「住まい」、「生活支援・福祉サービス」にも積極的に関わり地域包括システムを構築していくことを骨子としております。

今回の病院整備計画の公募で療養病床を増やすことによって、紹介患者の受け入れを迅速に行い、さらに在宅療養支援を始めることで在宅復帰した患者も継続的に支援するなど、地

域包括ケアシステムの一連の流れを円滑に進めていくことが当院の方向性と考えております。

○現在の体制で対応できていない患者と今後の見込み 等

当院は急性期病床・回復期病床・慢性期病床を有するケアミックス型の病院です。近隣病院からの依頼があれば、他の医療機関や施設で断られてしまった生活保護申請が必要な方や、家族への手厚い援助が必要な方、その他特別な事情のある方なども受け入れを行ってきました。地域包括ケアシステムの中で回復期機能を担う医療機関として求められる役割には、入院療養中に次の福祉へつなげることも重要だと考えますが、このような患者の支援は手間と時間がかかるため、病床に余裕がない場合にはお断りすることもしばしばあります。

また、当院への入院経路の内訳は外来が5割、他病院・診療所が3割、施設が2割です。現在は外来からの直接入院が多いため、そういった緊急時に対応するための病床を確保しておく必要もあり、紹介入院患者のスムーズな受け入れができない一因となっています。

今回の病院整備計画で病床の増床が認められればこうした状況も改善され、さらには自宅での医療を望む患者の声に応えることもでき、地域医療サービスの向上に貢献できるものと考えております。

【増床病棟】（※有床診療所についても準じて記載してください。）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
3病棟	従来 20床 追加 20床	慢性期	551日	100%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料 1	
診療科 内科、リハビリテーション科				
患者の受入見込み （※名称、数値（人数、病床数に占める割合）について具体的に記入してください。）				
【増床前】 H30年9月～R1年8月受入実績（118人）		【増床後】 年間受入予定（204人）		
白岡中央総合病院から12人（10.2%）		白岡中央総合病院から24人（11.8%）		
蓮田病院から5人（4.2%）		蓮田病院から10人（4.9%）		
新久喜総合病院から1人（0.8%）		新久喜総合病院から8人（3.9%）		
クリニカル病院から7人（5.9%）		クリニカル病院から7人（3.4%）		
獨協医科大学埼玉医療センターから5人（4.2%）		独立行政法人国立病院機構東埼玉病院から3人（1.5%）		
新井病院から2人（1.7%）		獨協医科大学埼玉医療センターから3人（1.5%）		
その他急性期病院から6人（5.1%）		新井病院から3人（1.5%）		
		その他急性期病院から6人（2.9%）		

<p>外来等から 80 人 (67.8%) ※診療所・介護施設などからの外来受診含む</p>	<p>外来等から 140 人 (68.6%) ※診療所・介護施設などからの外来受診、在宅療養支援含む</p>
<p>医療（介護）連携見込み （※具体的に記入してください。）</p>	
<p>【増床前】 ○紹介元 白岡中央総合病院、蓮田病院、新久喜総合病院、クリニカル病院、獨協医科大学埼玉医療センター、独立行政法人国立病院機構東埼玉病院、東鷲宮病院、新井病院、新しらかが病院、東埼玉総合病院、埼玉県済生会栗橋病院、秀和総合病院、春日部厚生病院、彩の国東大宮メディカルセンター、丸山記念総合病院、大宮中央総合病院、希望病院、伊奈病院、伊奈中央病院、さいたま市立病院、埼玉県立がんセンター、自治医科大学埼玉医療センター</p> <p>介護老人保健施設ぽっかぽか、特別養護老人ホームいなほの里、特別養護老人ホームずいせん長寿村、介護付有料老人ホームヒューマンサポート白岡、介護老人保健施設ケアタウンゆうゆう、介護老人福祉施設蓮田園、特別養護老人ホーム吾亦紅、訪問看護ステーションけあビジョン蓮田、介護老人保健施設みやじま、特別養護老人ホーム鷲宮苑、介護老人保健施設はーとぴあ、公設宮代福祉医療センター六花、特別養護老</p>	<p>【増床後】 ○紹介元 白岡中央総合病院、蓮田病院、新久喜総合病院、クリニカル病院、獨協医科大学埼玉医療センター、独立行政法人国立病院機構東埼玉病院、東鷲宮病院、新井病院、新しらかが病院、東埼玉総合病院、埼玉県済生会栗橋病院、秀和総合病院、春日部厚生病院、彩の国東大宮メディカルセンター、丸山記念総合病院、大宮中央総合病院、希望病院、伊奈病院、伊奈中央病院、さいたま市立病院、埼玉県立がんセンター、自治医科大学埼玉医療センター</p> <p>新井クリニック、大林内科、開誠医院、斉木眼科、篠津医院、白岡内科総合診療所、新白岡ばば眼科、白岡ファミリークリニック、新白岡駅前内科、杉本医院、高梨内科医院、なかむら内科クリニック、藤野医院、まきの消化器内科、矢部医院、山本クリニック</p> <p>介護老人保健施設ぽっかぽか、特別養護老人ホームいなほの里、特別養護老人ホームずいせん長寿村、介護付有料老人ホームヒューマンサポート白岡、介護老人保健施設ケアタウンゆうゆう、介護老人福祉施設蓮田園、特別養護老人ホーム吾亦紅、訪問看護ステーションけあビジョン蓮田、介護老人保健施設みやじま、特別養護老人ホーム鷲宮苑、介護老人保健施設はーとぴあ、公設宮代福祉医療センター六花、特別養護老</p>

人ホームひなの杜、社会福祉法人友愛学園

○紹介先

白岡中央総合病院、蓮田病院、新久喜総合病院、クリニカル病院、獨協医科大学埼玉医療センター、独立行政法人国立病院機構東埼玉病院、東鷲宮病院、新井病院、新しらか病院、東埼玉総合病院、埼玉県済生会栗橋病院、秀和総合病院、春日部厚生病院、彩の国東大宮メディカルセンター、丸山記念総合病院、大宮中央総合病院、希望病院、伊奈病院、伊奈中央病院、さいたま市立病院、埼玉県立がんセンター、自治医科大学埼玉医療センター、東京女子医科大学病院

介護老人保健施設ぽっかぽか、特別養護老人ホームいなほの里、特別養護老人ホームずいせん長寿村、介護付有料老人ホームヒューマンサポート白岡、介護老人保健施設ケアタウンゆうゆう、介護老人福祉施設蓮田園、特別養護老人ホーム吾亦紅、訪問看護ステーションけあビジョン蓮田、介護老人保健施設みやじま、特別養護老人ホーム鷲宮苑、介護老人保健施設はーとぴあ、公設宮代福祉医療センター六花、特別養護老人ホームひなの杜、社会福祉法人友愛学園

人ホームひなの杜、社会福祉法人友愛学園

○紹介先

白岡中央総合病院、蓮田病院、新久喜総合病院、クリニカル病院、獨協医科大学埼玉医療センター、独立行政法人国立病院機構東埼玉病院、東鷲宮病院、新井病院、新しらか病院、東埼玉総合病院、埼玉県済生会栗橋病院、秀和総合病院、春日部厚生病院、彩の国東大宮メディカルセンター、丸山記念総合病院、大宮中央総合病院、希望病院、伊奈病院、伊奈中央病院、さいたま市立病院、埼玉県立がんセンター、自治医科大学埼玉医療センター、東京女子医科大学病院

新井レディースクリニック、奥山こどもクリニック、児玉医院、山王クリニック、白岡整形外科、富田皮膚科、矢部医院、山本クリニック、りゅう内科整形外科医院

介護老人保健施設ぽっかぽか、特別養護老人ホームいなほの里、特別養護老人ホームずいせん長寿村、介護付有料老人ホームヒューマンサポート白岡、介護老人保健施設ケアタウンゆうゆう、介護老人福祉施設蓮田園、特別養護老人ホーム吾亦紅、訪問看護ステーションけあビジョン蓮田、介護老人保健施設みやじま、特別養護老人ホーム鷲宮苑、介護老人保健施設はーとぴあ、公設宮代福祉医療センター六花、特別養護老人ホームひなの杜、社会福祉法人友愛学園

6 既存病棟の概要（※有床診療所についても既存病床がある場合は準じて記載してください。）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
2 病棟	30 床	回復期	9 日	86%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	地域一般入院料 3	
診療科 内科、呼吸器内科、アレルギー科、消化器内科、眼科、リハビリテーション科				
診療実績 ○手術の実施状況（平成 30 年度実績） 内科：胃瘻造設術 9 件 眼科：白内障 973 件、多焦点 37 件、硝子体 76 件、その他 70 件 ○リハビリテーションの実施状況（平成 30 年度実績） 2 病棟 内科在院日数 8,016 日 リハビリ実施日数 1,381 日 リハビリ実施率 17.2% リハビリ実施日数内訳：脳血管Ⅰ 821 日、運動器Ⅱ 560 日 3 病棟 在院日数 7,300 日 リハビリ実施日数 1,308 日 リハビリ実施率 17.9% リハビリ実施日数内訳：脳血管Ⅰ 1,148 日、運動器Ⅱ 160 日				

7 医療従事者（※確保予定の人員には、増員となる人数を記載してください。）

職種	現在の人員（人）			確保予定の人員（人）		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算		実人数	常勤換算
医師	3	14	2.695	1		
看護師	11	3	1.1	1		
准看護師	16	3	1.4	4		
看護補助者	9	4	1.4	4		
その他	23	7	4.4			
計	62	31	11.0	10		

確保状況・確保策、確保スケジュール

<p>（※確保予定の人員について、確保策等を具体的に記載してください。）</p> <p>医師 1 名については、病院長が非常勤講師を務める獨協医科大学、東京女子医科大学の各医局から常時退職予定者などの情報収集をしています。現状、東京女子医科大学東医療センター脳神経外科の医師 1 名と当院の非常勤勤務医師 1 名が興味を示しているため、当院の在宅医療専任常勤医師として有力な候補者と考え、交渉を始めております。本計画が承認されれば、人材紹介会社も活用し、令和 3 年 1 月までに適任者を採用する予定です。</p>

看護師 1 名、准看護師 4 名、看護補助者 4 名の常勤職員については、定期的にハローワークや広告へ求人掲載し、また随時、民間の人材紹介会社へ依頼し、令和 3 年 3 月までに順次採用していく予定です。なお、採用状況によっては、グループ内のクリニカル病院からの配置も随時検討していきます。

8 医療（介護）連携における課題、問題点

○回復期、慢性期医療機関：市町村、ケアマネージャーとの連携状況、待機患者の状況、在宅への移行はスムーズに行われているか 等

病院長が白岡市医師会に入会し、白岡市の委託事業に携わり、市と情報交換する機会も頻繁にいただくようになりましたので、さらに連携して地域の課題に取り組んでいきたいと思っております。現状白岡市が抱えている医療面の課題として、在宅医療体制の不足、ポストアキュートの充実が挙げられます。また、今後は在宅療養患者の後方支援病床の必要性を感じていると理解しております。今回の当院の病床整備計画は、まさに白岡市における地域包括ケアシステムの構築に資するものと考えております。

入院中に A D L や認知機能が低下した患者の家族は、在宅復帰に大きな不安を抱えます。介護施設入所の提案と並行して、今後は在宅療養支援病院として訪問診療や訪問看護の利用へつなげていくよう支援していく所存です。地域の訪問看護ステーション等と協働することはもちろんですが、かかりつけ医がすぐに入院等の受け入れをするという安心感が重要だと認識しております。

なお、直近では当院の P T が白岡市自立支援型地域ケア会議に出席したり、看護師と相談員が南埼玉郡市医師会管内の医療機関・訪問看護ステーション連携会議に参加するなど着々と地域連携を深めております。